

傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆ 今、伝えたいこと
～設計事務所の受注①～
- ◆ 船井総研視察を終えて
- ◆ 共に考える保育園
- ◆ 物流施設と免震構造
- ◆ 敷地条件に合わせた計画
～大洋基礎様の杭～
- ◆ 社員名鑑
- ◆ 会社情報



今、伝えたいこと ～設計事務所の受注①～

皆さま、こんにちは。最近いろいろなところで、講演させていただく機会が多くなってきました。どうして私なんか、と思いますが、ありがたいというか、驚くことに弊社をベンチマークとしてくださる企業様もあり、その方々が聞きたいといってくださいる限り、できるだけお受けしたいと考えています。私が話すポイントは会社の体制や受注についてが多いのですが、今回は受注についてお話したいと思います。

私どものような設計事務所が受注しようとする、官公庁案件を入札で、もしくは民間案件を随意契約で、となります。入札は仕様書を読み込み、見積もりを作成し、過去の状況を分析した中から数字を出し、金額を決めていきます。民間案件は、個人的なつながりからの受注が多いように思います。私は、6～7年前までは、「設計事務所が営業する」という考え方は持ち合わせておらず、話があったときにお受けしたいとしか考えていなかったのですが、それでいいのだろうかと考えようになりました。官公庁案件ばかり(その逆も然り)だと、社員の仕事の幅が狭まるのではないかと。また、民間案件の受注が私経由ばかりだと、私がこの会社を退いた後はどうなるのだろうか、と。官公庁案件も民間案件もバランスよくやってこそ、会社としての総合力が高まると信じ、民間案件受注への手がかりを探し始めました。



★あるセミナーにて★

その一つが、コンサルタント会社の力をお借りしながらの、自社での助成金や設計トレンドに応じた「セミナー」の開催でした。民間企業様に向けての開催で、テーマの設定、プレゼンの仕方、そしてお客様への対応など、どれをとっても褒められたものではありませんでした(笑)。しかし、一所懸命取り組んでいることはよく分かっていました。回を重ねるに連れ、社員がレベルアップする様子を目の当たりにし、会社としての総合力が上がったように感じました。今では入社3年目の社員がセミナー講師を勤め、受注をしています。もちろん、3年目が講師をするということは私やベテラン社員の助言が必要ですが、そういったことに果敢に取り組む姿勢をほめたいですし、他の社員への見本ともいえます。これは民間案件の受注だけでなく、人材育成にもつながったと良い例だったと考えています。(代表取締役 岩本茂美)

岩本茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

昔はサラシ必須だった袴姿も、今やサラシ不要で威厳の溢れてしまうお腹に…。これはいけないとダイエットを決意！3日間の断食を敢行しました。結果はと申しますと…3日目の夜には耐えかねて社員を連れて飲みに出かけてしまいました…。



★新調した袴でお祝いの席★

★船井総研視察を終えて★

先日、船井総合研究所の支援先である設計事務所様が約30社、全国各地から弊社の視察に来られました。自分が働く姿を、社外の方に見られること、逆に他社様の仕事風景を見る機会もありないではないでしょうか？



★本社を岩本がご案内★

来社頂いた方とお話する中で、「社外へ意識を向けることで、社内の現状と課題が見えてくる」ということに気づきました。当たり前のように行っていた仕事の進め方、社内の体制など、様々なことに「客観性」と

いう新たな感覚が芽生えたように感じました。



★サテライトオフィスご見学の様子★



★大型バスでいらっやいました★

私は新卒で弊社に入社し、2年が過ぎ、会社の雰囲気慣れてきたと

ころですが、まだまだ自社の特質を完全に理解できていないと感じています。「会社は生き物である」とよく言われますが、まずはその生態を理解できなければ立派に成長できません。健康な職場環境をつくるうえで、一社員としてなができるのか？今回の視察を通して、社員の一人ひとりが会社を育てていけるよう、大切なことだと感じました。まだまだ、未熟者ではありますが、今自分ができることを丁寧に考えて日々の業務を行いたいと思います。(深堀)

傳設計 設計業務

以前ご紹介した大井保育園さんの運営する小規模保育園の「空港前保育園」に、開園後お邪魔する機会がありました。気持ち良さそうにお昼寝をしている子供たちや壁の掲示物など、当たり前ですが保育園として利用されているのを見て、ちょっとした幸せを感じました。



★開園後の空港前保育園(保育室)★

さて、最近弊社は、保育園のご相談を多くいただき、ファーストプランという形で計画を行っています。様々

なお話や実際に保育園を見せていただく中で、保育園の運営の方法によってプランの内容は違いますが、考え方のポイントは共通です。

例えば、周辺環境と建物の配置の考え方です。保育園は近隣からあまり良い印象を持たれない場合もあります。敷地周囲の建物の位置や用途によっては、安易に南側に園庭を設けずに、中に開くプランを考えるようにします。



★周辺環境の把握★

★共に考える保育園★

保育園は、各年齢で運動能力が違いため、区画をどこにするかが肝となります。少なくとも、寝て過ごすことやハイハイの多い0、1歳と立って走り回る2～5歳は別の部屋となるように計画することが多いですが、運営の考え方次第です。ただ、各年齢が入り混じるのは安全面や衛生面から好ましくないため、可動間仕切りによる区画を推奨します。他にも、調理室と調乳室やトイレ、収納などポイントはいくつもあります。

設計側では分からない保育や運営に関することも含めて、密に打合せをし、情報を共有することで、思い描く保育園に設計の立場からの意見を加えたベストなプランを一緒に考えています。(成尾)

★物流施設と免震構造★

前回(第22号)に引き続き、『物流施設』について構造の目線からお話しさせていただきます。

物流施設といえば、トラックと施設間で積み卸しをするためのスペースであるトラックパースや、複数階からなる建物であれば地上から各階へつなぐ斜路のランプウェイが特徴的です。傍から見えない部分は、免震構造とすることが現在の大規模物流施設の主流となっています。

免震とは簡単にいうと、地震の振動を直接建物が受けないようにする

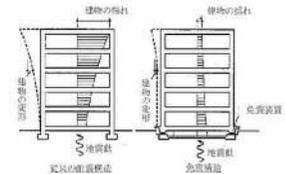


★トラックパース★



★ランプウェイ★

揺れなくなること、庫内の物品の荷崩れ被害も減り、設計時の地震力も小さくなるので建物の柱梁も小さく、数も少なくなり、フレキシブルな倉庫空間を設計できるとメリットが多いというわけですね。



★耐震構造と免震構造★

現在、弊社で計画が進行している物流施設はいずれも平屋建てで今回お話しした免震構造は関わっていないのですが、棟によっては1万㎡を超えるような建物もあるので実施設計が始まればやはり甲斐のある仕事になりそうです。(林)

NEW&HOT TOPIX

今回は、現在施工中の(仮称)高砂2丁目マンション新築工事における杭工事についてお話しいたします。

本件は、鉄筋コンクリート造10階建ての単身者用賃貸マンションで、傳設計のグループ会社である小野設計の設計・監理で受注し、構造設計を傳設計で行った物件です。



★杭施工状況★

当物件の構造規模より、杭の施工が不可欠ですが、決して余裕のない

建設用地の広さや、接道する道路幅の狭さなど、限られた環境下での施工計画を検討する必要があったため、実施設計に入る段階より、場所打ちコンクリート杭工事に強みのある大洋基礎様に協力を願い、設計担当者間で協議を重ねた結果、『杭頭鋼管巻アースドリル 拡底工法』を採用することにいたしました。では何故この工法を採用したのかについてご説明いたします。

この工法の特徴として、地表に近い杭頭部に鋼管を巻いて補強し、地中の杭先端部を局部的に大きくして必要な支持力を確保することで、軸部径を細くでき、杭の偏芯を小さくし、杭応力を低減できます。

これにより、掘削する土や使用する鉄筋・コンクリートの体積を抑えることができるため、今回課題であった限られた環境下での施工計画も、

必要な機材やプラントを最小限に抑えて施工することができ、材料費や工期の圧縮も図ることができました。

杭の選定には幾つもの杭種や工法があるため、施工環境や構造規模に見合った方法を、安全性や経済性などあらゆる方向より総合的に比較検討を行うことが重要であり、弊社グループの設計スタンスとしてこれらを大切に考え取り組んでおります。(小野設計/藤田)



★杭頭部状況★

★敷地条件に合わせた計画 ~大洋基礎様の杭~★

★五月病を吹き飛ばせ！in香椎★

毎年5月に、弊社のある香椎で、「五月病を吹き飛ばせ！in香椎」というイベントが行われます。このイベントは、香椎のまちづくり団体が主催されており、地元の大学生によるヒーローショーや高校生による吹奏楽の演奏など、文字通り五月病なんて吹き飛ばしてしまうような、盛り沢山のイベントです。数年前から、弊社も若手社員を中心に参加させていただいており、今年も来場されたお子さまへ輪投げなどのゲームのご案内をしたり、Fukuoka東区花火大会の協賛Tシャツの販売を行ったりといったお手伝いをさせていただきました。お客さんは途絶えることなく、大盛況。今年もとても暑い、熱い一日となりました。

弊社は「地域密着！」を掲げ、地域の方とのつながりを大切にしたいと考えております。こうして毎年お声かけいただけるのは、とても嬉しいことです。次のお手伝いは9月のFukuoka東区花火大会です！（澤田）



★わなげ受付★



★参加者に景品をお渡し★

社員名鑑 vol.23



氏名：八尋正俊

社歴：3年3ヶ月

所属：設計2部

主な業務：構造設計

趣味：筋トレ、ドライブ、温泉

趣味の筋トレは2年ほど前からマイペースで続けています。何か目指しているわけではないのですが、トレーニングの記録を付けていくと少しずつ重量や回数が上がっていて、成長が感じられることが楽しくて続けています。

業務は鉄筋コンクリート造、鉄骨造及び木造の耐震診断業務や、構造設計・監理業務を行っています。入社4年目になり、段取りや手配の要領は慣れてきているものの、肝心の設計業務の方は日々勉強の毎日です。業務の方でも成長していけるように全力で頑張っていきたいと思えます。



★新入社員が入社しました★

4月の初め、弊社では今年も新卒入社の社員を迎え、入社式を行いました。今年は3名が入社し、現在、慣れない業務に加え、毎朝の清掃や研修、電話対応、来客対応…と、一所懸命取り組んでいるところです。雑用と捉えず、社会人としての振る舞いや会社のことを覚える機会と考えて取り組んでほしいと思っています。

さて、入社された3名は皆女性なのですが、元気がいっぱい、明るい挨拶が飛び交うのは、気持ちがいいものですね。当たり前のことといえばそうなのですが、社会人〇年目となり、つい忘れかけていたことを思い出させてくれました。きっとこういった面だけでなく、業務に向かう姿勢についても皆初心を思い出し、また、先輩となり、教えること、伝えることの難しさを痛感しているのではないのでしょうか。社員皆で切磋琢磨して、よいチームとなっていきたいものです。皆さま、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。（澤田）



★辞令交付★



★恒例の記念撮影★

- ◆ 編集後記／／／ニュースレターを約5年間担当していた古屋がお休みをいただくことになり、今号より少しの間、私澤田が担当することになりました。常にシャッターチャンスを狙う毎日となりました。何卒宜しくお願いします。／／／ニュースレターの送付が不要な方は、誠に恐れ入りますが、右記までご連絡ください。／／／ニュースレターへのご意見、ご感想を同封のアンケートをFAXでお送りください。お待ちしております。／澤田



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

